

## 守山市立吉身保育園の保育理念等および現状の保育内容について

### 第1 指定管理者制度導入以前からこれまでの吉身保育園の保育理念等

#### 1 保育理念

保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な乳幼児時期に、その大半を過ごす場であることから、吉身保育園（以下「保育園」という。）では、次の理念を掲げ、一人一人の子どもの育ちを大切にする保育を実施している。

#### 「吉身保育園 保育理念」

- (1) 一人一人の子どもの発達過程を十分に把握し、家庭や地域社会と連携を図ることで保護者の協力の下に保育を進め、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境の中で、自己を十分に発揮しながら活動できるよう最大限の配慮を行う。
- (2) 豊かな人間性をもった「ひと」としての育成を目指し、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培う。

#### 2 保育目標

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期である。

保育園では、一人一人の子どもの発達過程を十分に把握し、家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力の下に保育を進め、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、その中で自己を十分に発揮しながら活動できるよう配慮している。また、豊かな人間性をもった子どもへの育成と、生きる喜びと困難な状況に対処する力を育て、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことを基本として次の保育目標を定めている。

- あたたかい思いやりの心をもった子ども
- 自分の考えをもって行動できる子ども
- 生き生きとした強く明るい子ども

また、人権への配慮のため、保育にあたっては次のことを目標としている。

- 人権を大切にする心を育てあう

### 3 保育の取組（方針）

保育目標を達成するため、保育の取組を次のように定める。

#### (1) 年齢に応じた保育方針

##### ア 3歳未満児

- 家庭的な雰囲気の中で保育士の温かな愛情のもと、一人一人の生活のリズムを大切にし、気持ちの安定を図るように努める。（育児担当保育の導入）
- 安全で、子どもの導線から見た室内環境や探索行動が十分にできる保育環境を工夫する。
- 一人一人の発達に応じた応答的な関わりを心がけ、心身の発達を促す。

##### イ 3歳以上児

- 幼児教育に取り組む施設として、「守山市幼児教育方針」に基づく保育を実施する。
- 幼児教育とともに、児童福祉の理念に基づく養護として、家庭に代わる養育としての保育を実施する。

#### (2) 異年齢による縦割り保育の実施

核家族化と少子化、自然の破壊や都市化による子ども達の遊ぶ場の喪失や幼児期からの塾通い等により、異年齢が交わって遊ぶことが少なくなり、昔からの伝承的な遊びや縦の関係の中で育つ仲間意識や成長のきっかけ等が失われつつある。

そこで保育園では、このことを補完する取組として、3歳以上児では同一年齢の保育（以下「年齢別保育」という。）とともに、異年齢による縦割り保育（以下「縦割り保育」という。）を実施している。

縦割り保育と年齢別保育を流動的に組み立てることで、遊びや活動がより多様に展開され、豊かな人間関係づくりの基礎を培うことに努めている。なお、それぞれの保育の意義及び配慮事項は以下のとおりである。

##### ア 縦割り保育（保育園では保育全体の基本となることから、「ホーム」と呼称。）

- 子ども達がおかれている状況の変化に対応するため、異年齢の子ども同士の関わりを多くし、同一年齢の保育では得られない経験を縦割り保育の中で体験させる。
- 子どもたちは年齢や発達の異なる仲間の中で、多面的に幅広く友達を選択することができ、いろいろな友達からの刺激を受けることによって、子どもたちが互いに育ち合うことができる。
- 自分より年下の子どもへのいたわりや思いやりとともに、リーダーシップや指導力等の芽生えを体得できる。また、年少の子どもは、年上の子どもに対して活動のモデルとしてあこがれを持ったり刺激を受けたりすることによって、生活習慣の自立や言語の発達等を促進する。

##### イ 年齢別保育（保育園では「グループ」と呼称。）

- 年齢毎の発達に合わせ、一人一人の個人差に配慮しながら同年齢での実施が相応しい活動は、年齢別保育として行うべく、環境を構成、設定する。
- 相互の関わりを通して年齢に合った課題やテーマを活動の中に入れながら遊びを深め、異年齢では得られにくい葛藤する心や、刺激し合いながら自己表現する力、協調性や達成感等を育む。

### (3) 小学校との連携

小学校との連携を図ることで、子どもの生活や発達の連続性を踏まえた保育の内容の工夫、子ども一人一人の育ちに必要な情報の共有を実施し、小学校への滑らかな接続を図る。

- 市が設置している守山市就学前教育協議会を通して、小学校区にある保育園、幼稚園、小学校が公開授業や公開保育、協議を行い、それぞれの校園の実態や課題を共有し、日々の保育に活かすことで、保育、教育の研鑽に努める。
- 5歳児が吉身小学校の5年生と年間を通じて数回の交流を行う「5・5交流」を実施する。
- 支援の必要な園児、児童については、会議等を通じて適宜情報交換を行う。

### (4) 特別な支援が必要な園児への対応

障害等により、育ちに特別な支援が必要な子どもに対して保護者の理解のもと、次の事項に配慮した保育を実施する。

- それぞれの子どもの障害の特性を知り課題を明らかにするとともに、支援のあり方を探る。
- 個別支援計画に基づき、保護者と定期的に成長を確認しながら、加配担当保育士が統合保育の中でしっかりと位置づけ、課題にあった保育を行う。
- 加配担当保育士だけに任すことなく、職員全員が支援の必要な子どもを共通に理解し、職員全員で見守り、支援する体制を確立する。
- 保護者との連携を大切にし、信頼関係を築き、日々の保育や行事への参加の仕方について、細かく丁寧に話し合う。
- 必要に応じて、関係機関との連携を図るとともに、研修会にも積極的に参加し、資質向上に努める。

### (5) 保護者との連携

保護者（家庭）との連携を図り、信頼関係のもと、子どもの育ちを共有することで、一人一人の子どもにあった保育や家庭での子育ての質の向上に努める。

#### ア 情報の提供（交流）

##### (ア) 各種便りの配布

- 園便り（毎月1回発行）  
内容：行事等をお知らせ
- 献立表（裏面「もりもり通信」。毎月一回発行）  
内容：毎月の給食献立とともに、もりもり通信では、『食育』の一貫として食生活全般に関わっての文化や言い伝え、行事食やマナー等保育園給食で大切にしていること等を啓発している。
- クラス便り（毎月1回発行）  
内容：クラス（ホーム・グループ）毎の遊びの取組や子ども同士の関わりの様子、つぶやきやエピソード等を担任が作成、編集し発行している。（園全体での共通連絡事項あり。）
- さくらんぼ便り（年10回発行）

内容：未就園児の保護者に向けた子育て通信として発行している。

○ 人権通信「人権ってなあに？」(年3回発行)

内容：子育て通信として、未就園児の保護者に配布。子どもたちの素朴なつぶやきから保育士の関わり方や大人の言葉のかけ方等、人権の視点から一人一人を大切にしている取組を掲載している。

(イ) ボードによる保育室毎の日々の保育内容のお知らせ

(ウ) 必要に応じた懇談の実施

(エ) 園内造形展、版画展等の開催

(オ) 保護者を対象とした研修会の実施

イ 園行事への保護者参画

○ 保育参観及び保育参加の実施(複数回)

○ 各種園行事への参画

ウ 保護者支援

○ 懇談会(個別及び年齢毎)の実施

(6) 地域との交流

地域の自然環境や伝統的な文化、様々な経験や知識を持つ人との交流を保育に取り入れることで、子どもの育ちを豊かなものとすべく、以下の団体等との世代間交流を行っている。

○ ハッピーさんとの交流

園児の祖父母や地域の高齢者の方がボランティアとして登録された「ハッピーさん」と、年間計画に基づいて、毎月1回程度園児と製作や散歩、伝承遊び等を通じて交流している。

(7) 人権・同和保育

「人権を大切にすることを育てあう」ことを目標とした保育に努めている。

4 地域に向けた子育て支援

保育園の持つ専門的な機能を活用し、開かれた施設として、地域の未就園児とその保護者等に向けた子育て支援に努めている。

(1) 子育て教室

○ さくらんぼ教室

毎月1回程度、地域1~2歳児の未就園の親子が集い、一斉で遊ぶ。

子育て支援担当保育士が常時関わり、子育て相談にも対応する。

(2) 子育て相談

○ 保護者の子育て不安を解消するための相談を随時実施している。

(3) 園庭開放

○ 毎週土曜日、10時から1時間程度園庭を開放している。

## 5 保育の質の向上を図るための職員による取組

保育園における保育の質の向上に職員は常に努めている。

### (1) 各種会議の開催

- ア 定例職員会議 ……毎月一回開催  
次月の行事の確認や前月行事の反省等を行う。また、各担当からの伝言や全職員で決めること等を協議する。(1時間程度)
- イ 保育内容検討会 ……毎月一回開催  
各クラスから生活や遊びの様子を伝え合う。また、子どもの姿から、課題等を探り、手だてを見つけていくことで、全職員が同じ対応ができるようども理解の場とする。その他、各部会の報告やヒヤリハット検討、人権研修を行う。  
※園内の研修として、園内研修会、シミュレーション研修、実技研修を行う。(3時間程度)
- ウ 部会毎の研究会 ……毎月一回開催  
乳児部会、幼児部会、特別支援部会を園内研究会として位置づけ、部会毎に設定したテーマに添った研究を行う。(1時間程度)
- エ 給食会議 ……毎月一回開催  
月末に、各クラスの代表者と調理担当者がテーマに添って、食事状況や食のマナー、食育について話し合い、給食指導に活かす。また、食に関わった職員研修も兼ねている。(1時間程度)

### (2) 研修への参加

- ア 守山市保育協議会主催研修事業
- イ 滋賀県保育協議会主催、研修会
- ウ 滋賀県人権保育研究協議会主催、人権保育連続講座等  
……………定例総会、滋人保県研究大会、全解保等
- エ 滋賀県人権教育研究会(守山支部)  
……………総会、守山市人権教育研究大会、人権講座(地域総合センター)等
- オ 守山中学校区人権・同和教育実践交流研究会  
……………各校園公開保育授業及び協議会全体研修会
- カ 就学前教育協議会……………校園公開授業・保育及び協議会
- キ その他各種研修会(特別支援教育、美術教育等)

### (3) その他参加している調整会議等

- ア 市保育協議会主催園長会、主任会
- イ 公立園長会、公立主任会
- ウ 要支援児のケース検討会議
- エ その他

## 第2 現状の保育内容について（園要覧より抜粋）

### 1 運営方針

#### （1）保育の理念

乳幼児期は人間形成にとって極めて重要な時期です。保育園は、児童福祉法及び保育所保育指針、児童憲章及び児童権利宣言、児童の権利条約等に示された保育の基本理念に基づき、子ども一人一人の最善の利益を図るとともに、保護者の子育て支援を目指して保育に当たります。

#### （2）保育の目的

保育を必要とする乳幼児について、養護と教育が一体となった保育を行い、それによって乳幼児一人一人の健全な身・知・心の成長を図り、一人一人の子どもが一つの主体として育つこと、また子どもと保護者が安心して生活できることを保育の目的とします。

#### （3）保育の目標

保育園は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。このため、保育園の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、保育の目標を掲げます。

- ① 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満ちし、生命の保持及び情緒の安定を図る。
- ② 健康や安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。
- ③ 人との関わり中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。
- ④ 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ⑤ 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養う。
- ⑥ 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。

保育園は、入園する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育園の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たることを目標とします。

#### （4）育てたい子どもの姿

- ・ あたたかい思いやりの心をもった子ども
- ・ 自分の考えをもって行動できる子ども
- ・ 生き生きとした強く明るい子ども

・ 人権を大切にすることを育てあう

(5) 重点取り組み

本園では園外保育や直接体験を多く取り入れて、子どもたちの心が揺さぶられるような保育を心がけています。また一人一人の発達を見つめながら、様々な人間関係の中で育まれる心の育ちと、健やかな心身の成長発達を願っています。

(6) 具体的内容

< 0・1・2歳児保育（育児担当保育） >

○乳児期には心を育てるための栄養と、体を育てるための栄養の両方が必要です。

心を育てるための栄養とは人として尊ばれ愛されることで、体を育てるための栄養とは衛生的、健康的な食事・睡眠・排せつなどの基本的な生活習慣のことで、乳児ではこの2つを大切にしながら、人のぬくもりや温かさの中で、ほっとした安心感を持ちながら生活できるようにしています。

○保育指針では0歳児から2歳児は、心身の発達の基盤が形成されるうえで極めて重要な時期であり、生活や遊びの様々な場面で主体的に周囲の人や物に興味を持ち、直接かかわっていきこうとする姿は、「学びの芽生え」であり生涯の学びの出発点にも結びつくものです。「すこやかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」の三つの視点から保育に取り組んでいます。

育児担当保育を取り入れることで「一人一人を大切に保育」を心がけ、子どもたちが安心して過ごせる環境を作っています。信頼感（人を信じることができる）は、豊かな人間関係を作るための基本になります。ゆっくり見守りながら待つことで、子どもの欲求を満ちし信頼関係を育んでいきます。担当を決めることにより、特定の保育士が一人一人の子どもの期待・希望・要求を受け止め、子どもの気持ちに寄り添いながら優しい関わりと言葉で十分に応えることができます。それにより人に対する安心感や信頼感による情緒の安定が図れ、自分の気持ちを相手に表現していく意欲や行動につながり、自我の育ちとなるようにしています。

< 3・4・5歳児保育（たてわり保育） >

近年、異年齢が交わって遊ぶことが少なくなり、昔からの伝承的な遊びや縦の関係で育った仲間意識などが失われつつあります。このような中で異年齢の子ども同士の関わりを多くし、保育士との信頼関係を基礎に一人一人の子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などを高め自分への自信を持つことができるよう、クラスを3・4・5歳児と一緒に生活するたてわり保育をしています。ホーム（クラス）は一つの家庭であると考え、安心できる居心地の良い場所で過ごし異年齢の子ども同士のつながりを通して、子どもの成長を見守っています。

〈たてわり保育での育ち〉

- 年齢の違いを感じながら、より自分の存在を見つめることができます。
- 年齢の違いを子ども一人一人が受け入れ、自分にできることを他の子どもに自然に伝えていくことができます。
- 互いに教え合うことで自分もできるという自己達成感が自信へとつながります。
- 年上の子どもは、年下の子どもにいたりや思いやりの心をもって関わることができます。
- 年齢の違う子どもが、日々生活する中で“見てまねて学ぶ”という模倣が自然とできます。

〈たてわり保育年間スローガン〉

様々な人と触れ合うなかで豊かな心を育み、人として生きる力を身につける。

4・5月・・・ホームの中で、自分の居場所を見つける。

6・7・8月・・・保育士に認められる中で、自分自身を大切にする。9・10月・・・  
集団で過ごすことの楽しさを味わい、一人一人が  
いきいきと活動する。

11・12月・・・みんなと関わり遊ぶことの楽しさを味わい、一人一人が自信をも  
って過ごす。

1・2・3月・・・仲間に認められる中で自分自身を大切に、互いに学び、互いに  
伝え合う。

## (7) 本年度の努力点

- ア 児童福祉の理念を理解し、地域社会の要請に応えながら保育園、幼稚園、小学校、中学校との連携を図り、保育の円滑な運営にあたる。
- イ 子どもの成長発達に応じた指導計画の作成と、養護・教育が一体となった保育実践活動に取り組む。
- ウ 育児担当保育・たてわり保育や年齢別グループ活動を進めていく中で、保護者の理解を深めると共に、相互の信頼関係を保ちながら保育・子育ての推進にあたる。
- エ 職員相互の理解と信頼を深め合い、研究課題に向けて努力すると共に、お互いに和と笑顔を忘れず、協力し合いながら保育実践にあたる。

## (8) 職員信条

職員一人一人が職務の尊さを自覚し、自己研鑽に努めながら子どもの健やかな成長を願って邁進する。

真に子どもを愛し、  
常に子どもと共に歩み、  
子どもの個性を伸ばし、円滑な人格の形成に役立つよう努力する。

## 2. 保育計画

### (1) 年間指導計画

年齢	0 歳 児	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境の中で、保育士と子どもとの触れ合いを大切に、個人差を考慮しながら情緒の安定を図る。</li> <li>・ 離乳の完成と歩行の開始、身体各部の基本的発達を促し、発語の意欲を育てる。</li> <li>・ 特定の保育士との信頼、愛着関係をもとに、人と関わる喜びを知り、一人一人が安心して心地よく過ごせるようにする。</li> </ul>	
期	ね ら い	
I 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察して、疾病や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の子どもの生活リズムを重視して、生理的欲求を満たし、生命の保持と生活、情緒の安定を図る。</li> <li>・ 特定の保育士が、ゆったりとした雰囲気の中で関わり、安心して過ごせるよう信頼関係を築いていく。</li> </ul>
II 期	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の子どもの気持ちに寄り添い、欲求に十分に答え情緒の安定を図る。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どものしぐさを見て、優しく語りかけたり応答的に応えたりして、自分の思いや欲求を表現しようとする気持ちを育てる。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達に応じた環境を用意し、一人一人の遊びへの意欲を引き出し、満足して過ごせるようにする。</li> <li>・ 担当保育士に要求や気持ちを表し、受け止められ、満たされることで人に対しての信頼感を持つ。</li> </ul>
III 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人や物への興味や関心の芽生えを育み、一人一人の発達を促すような遊びを楽しむようにする。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの思いを受けとめ、優しく語りかけたり、表情豊かに語りかけたりして、感受性を育む。</li> </ul>
	11	
IV 期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動範囲を広げて、聞く、見る、触るなどの経験を、保育士や友達と共に楽しもうとする。</li> <li>・ 絵本や玩具など、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生えるようにする。</li> <li>・ 一人一人の子どもの豊かな人間関係を通して培われた力が、様々な活動の源になるようにする。</li> </ul>
	1	
	2	
	3	

年齢	1 歳 児	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境の中で、保育士と子どもとの触れ合いを大切にしながら、見守られているという安心感の中で自己肯定感や、人に対する信頼感を育てる。</li> <li>・ 特定の保育士との信頼関係の下で、基本的な生活習慣や自発的に周囲の物事を知ろうとする意欲や友達への関心を育てる。</li> <li>・ 基本的な生活習慣の芽生えを養う。</li> </ul>	
期	月	ね ら い
I	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の子どもの生活リズムを重視し、生理的欲求や甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境をつくり、体の状態を観察し快適に生活できるようにする。</li> <li>・ 保育士や新しい生活の場に慣れ、安心して生活したり遊んだりする。</li> <li>・ 様々な食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気の下で食べることができるようにする。</li> </ul>
II	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の子どもの状態に応じて睡眠など適切な休息をとるようにし、快適に過ごせるようにする。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの様々なものを自由に触れて遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの活動を通して自分でしようとする気持ちが芽生える。</li> </ul>
III	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節の変化に留意し、保健的で安全な環境をつくり、体の状態を観察し快適に生活できるようにする。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な生活、遊びを通してやりたい遊びを十分に行い、体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な音楽に親しみ、それに合わせた体の動きを楽しむ。</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士の話しかけや発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。</li> <li>・ 安心できる保育士の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする。</li> </ul>
IV	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立と依存の間を揺れ動く子どもの心情を受け止め、欲求を満たし情緒の安定を図る。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な遊びを通して子どもの相互の関わりを持つ。</li> <li>・ 絵本、玩具などに興味を持ってそれらを使った遊びを楽しむ。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心できる保育士との関係の下で食事、排泄、着脱などの活動を通して自分でしようとする気持ちを持つ。</li> </ul>

年齢	2 歳 児	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境の中で、一人一人の欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</li> <li>・ 保育士の手助けを通し、基本的な生活習慣が身につくようにする。</li> <li>・ 保育士と一緒に模倣活動と言語活動を活発にし、また、周りの環境や友達との関係を広げて表現活動を楽しむ。</li> </ul>	
期	月	ね ら い
I	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。</li> <li>・ 一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。</li> <li>・ 楽しんで食事や間食をとることができるようにする。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午睡など休息の機会を適切につくり、心身の疲れを癒して、集団生活による緊張を緩和する。</li> <li>・ 保育士や園生活に親しみ、一緒に好きな遊びをする。</li> </ul>
II	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心できる保育士との関係のもとで、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ したいこと、してほしいことを身振りや言葉で伝えようとする。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りのものや、親しみのもてる小動物や植物を見たり触れたり、保育士から話を聞いたりして興味や関心を広げる。</li> <li>・ 保育士と一緒に全身や指先を使う遊びを楽しむ。</li> </ul>
III	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士に手助けされながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・ 保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>
	12	
IV	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬の健康生活に留意し、健康に過ごすことができるようにする。</li> <li>・ 簡単な生活習慣を身につける。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興味のあることや経験したことなどを、生活や遊びの中で、保育士とともに好きなように表現する。</li> </ul>
	3	

年齢	3 歳 児	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境の中で、一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</li> <li>・ 保育士に見守られながら、園生活や基本的な生活習慣の仕方がわかり、身につける。</li> <li>・ 遊びや生活を楽しむ中で、保育士や友達と親しみ、生活経験を豊かにする。</li> </ul>	
期	月	ね ら い
I	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい環境の中で、保育士に親しみ安心して過ごす。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園生活の流れや生活の仕方を知る。</li> <li>・ 園の遊具や玩具に興味を持ち、自分から遊ぼうとする。</li> </ul>
II	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の仕方が分かり、自分でできることは自分でしようとする。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士や周りの友達と好きな遊びを楽しむ。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な自然に親しみ、全身を使って開放的な遊びを楽しむ。</li> </ul>
III	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士や友達と体を動かして遊ぶ心地よさや、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経験したことを自分なりに表現しようとする。</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びや生活には、約束や決まりがあることを知る。</li> </ul>
IV	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣が身に付き、自分でしようとする。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と関わりを持ちながら、自分のしたい遊びを存分に楽しむ。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きくなったことを喜び、進級することに期待を持つ。</li> <li>・ 年上の友達に遊んでもらうことを楽しむ。</li> </ul>

年齢	4 歳 児	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境の中で、一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</li> <li>・ 日常生活に必要な基本的な習慣、態度、言葉を身につける。</li> <li>・ 様々な自発活動の場を通して、達成感を得ることで、自立心を育てる。</li> </ul>	
期	月	ね ら い
I	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい環境の中で安心して過ごす。</li> <li>・ 生活の仕方に慣れ、身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな遊びを見つけて保育士や友達と楽しんで遊ぶ。</li> </ul>
II	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しい集団生活を送るための約束やルールを知り守ろうとする。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分のしたい遊びを進んでする中で、友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な動植物に関わったり世話をしたりする中で、自然に親しむ。</li> </ul>
III	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分でできることに喜びを持ちながら、生活に必要な習慣を身に付ける。</li> <li>・ 体を動かして遊ぶ心地よさを十分に味わったり、ルールのある遊びを楽しんだりする。</li> </ul>
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋の自然事象に興味や関心を持つ。</li> <li>・ 友達に思いや考えを伝えながら遊び、友達の思いにも気づく。</li> </ul>
IV	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の力を発揮しながら生活する喜びを感じ、様々な活動に主体的に取り組む。</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな遊びの中で友達と思いを出し合いながら、目的を持って一緒に遊びを進めていく。</li> <li>・ 身近な自然の変化や不思議さに気づき、興味を持って遊ぶ。</li> </ul>
V	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進級する喜びと期待を持ちながら、生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</li> <li>・ 友達と互いに思いを伝えながら、遊びを進める楽しさを味わう。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あこがれや思いやりの気持ちを持ち、異年齢の友達と関わって遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬から春への季節の移り変わりを体で感じ取り、春の訪れに気づく。</li> </ul>

年齢	5 歳 児	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健的で安全な環境の中で、一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。</li> <li>・ 健康な生活や安全に必要な基本的な習慣や態度を身につけ、その大切さを理解し、自主的に行動する力をつける。</li> <li>・ 友達とのつながりを深めながら、様々な活動を通して自立と自信を養い、生活経験の範囲を広げる。</li> </ul>	
期	月	ね ら い
I	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しい環境に慣れ、友達との遊びを楽しむ。</li> <li>・ 基本的な生活習慣を再認識し、身に付けていく。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年長児になった喜びと自覚を持つ。</li> <li>・ 戸外遊びで気の合う友達といろいろな遊びを楽しむ。</li> </ul>
II	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら友達と一緒にいろいろな遊びを楽しむ。</li> </ul>
	7	
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な自然に触れ、よくみたり、考えたり、試したりしながら遊びを楽しむ。</li> </ul>
III	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸外で力いっぱい体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・ 友達と共通の目的に向かって力を出し合い、試したり工夫したりしながら意欲的に遊びを進めていく楽しさを味わう。</li> <li>・ 秋の自然の変化に気づき、興味や関心を持って身近な自然に関わる。</li> </ul>
	10	
IV	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達とのつながりを深め、共通の目的を持ち考えを出し合って遊ぶ中で、協力したり工夫したりする態度を養う。</li> <li>・ 身近な社会の様子に関心を持つとともに、行事や活動することを楽しむ。</li> <li>・ 自分の感じたこと、考えたことを様々な方法で表現することを楽しむ。</li> </ul>
	12	
VI	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学に向け、友達と一緒に見通しや目標を持って、いろいろな活動に意欲的に取り組む。</li> </ul>
	2	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲間意識を深め、社会生活に必要な能力を身に付け、自覚や自信を持つ。</li> <li>・ 自分たちのしてきたことに自信を持ち、異年齢の友達に伝える。</li> </ul>

## (2) たてわり保育年間目標

年間目標		様々な人と触れ合う中で豊かな心を育み、人として生きる力を身につける。
期	月	ね ら い
I	4	<b>ホームの中で、自分の居場所を見つける</b> ・好きな遊びを楽しみながら、ホームの雰囲気慣れ、新しい保育士や友達に親しむ。
	5	3歳児・・・年上の友達に自分の思いを受けとめてもらいながら、安心して過ごす。 4歳児・・・年上、年下の友達の遊びに興味・関心を持ち、まねをしたり一緒に遊ぼうとしたりする。 5歳児・・・年長児になった喜びを味わいながら、年下の友達の身支度や活動の準備を手伝ったり、声をかけようとしたりする。 園生活や遊びの中でのきまりや約束を年下の友達に伝える。
II	6	<b>保育士に見守られる中で、自分自身を大切にする</b>
	7	・いろいろな遊びを経験する中で、友達と関わりながら遊ぶ。
	8	3歳児・・・園生活に慣れ、保育士や年上の友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 保育士や年上の友達に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとする。 4歳児・・・年上、年下の友達と関わりながら、様々な遊びを楽しむことで、年上の友達に憧れたり年下の友達を思いやろうとする。 生活に必要な身の回りのことを知り、自分でしようとする。 5歳児・・・生活の中で困っている友達に声をかけたり助けあったりする中で、相手を思いやる気持ちが身につく。 ホーム・グループでの友達とのつながりを広げていく。
III	9	<b>集団で過ごすことの楽しさを味わい、一人一人がいきいきと活動する</b>
	10	・いろいろな遊びや行事に取り組む中で、友達との関係を深める。 3歳児・・・年上の友達の遊びに興味を持ち、まねしたり一緒に遊んだりすることを楽しむ。 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 4歳児・・・年上、年下の友達とのつながりを感じながら、いろいろな活動を通してみんなですべた喜びを味わう。 生活に必要な習慣を知り、守ろうとする。 5歳児・・・年下の友達との関わりを深める中で、行事に見通しや目的を持ち進んで取り組もうとする。 生活に必要な習慣が身につく、自分から進んでしようとする。 困っている友達に手を差し伸べる思いやりの気持ちが芽生える。また、誰かの支えになれた喜びを味わい自信を持って行動できる。
	11	<b>みんなと関わり、遊ぶことの楽しさを味わい、一人一人が自信を持って過ごす</b>
IV	12	・友達に自分の思いを伝えたり、受けとめてもらったりしながら、遊びを広げる。 3歳児・・・ルールのある遊びやごっこ遊びを年上の友達と一緒に楽しむ。 生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。 4歳児・・・年上、年下の友達とのつながりを広げながら、その中で自分の思いを表現する。 冬の健康な生活習慣を知り、自分でしようとする。 5歳児・・・友達と共通の目的を持ち、クラスの中心として年下の友達をリードしていく。 年下の友達に頼られることで、仲間意識が強くなり関係性が深まっていく。 冬の健康な生活習慣を身につける。

V	1	仲間認められる中で、自分自身を大切に、互いに学び互いに伝え合う
	2	・友達の良さを受けとめ、協力したり認め合ったりしながらのびのびと遊ぶ。
	3	3歳児・・年上の友達と一緒に遊ぶ中で、憧れを持ったり上手にできる方法を教えてもらったりしながら好きな遊びを楽しむ。 生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
	4	4歳児・・友達との関わりを深めながら、年上の友達の姿を見て自分から意欲的に活動し、進級することへの期待を持ち、意欲的に過ごす。 生活に必要な習慣を身につける。
	5	5歳児・・年下の友達にいろいろな遊びを教えたり、卒園に向けての活動を通して就学への意欲や関心を持ったりする。 生活に見通しを持ち、自ら進んで生活できるようにする。

### 3 年間行事計画

	・全体の行事 ●・・幼児の行事	保護者の方に参加あるいは参観していただく行事	
	◎・・乳児の行事	幼児の行事	乳児の行事
4月	・入園式9日(火) ●5歳児懇談会 26日(金)	・入園式9日(火) ・5歳児懇談会 26日(金)	・入園式9日(火)
5月	●3歳児懇談会 10日(金)	・3歳児懇談会 10日(金)	・はじめましての会 18日(土)
	●保育参観 17日(金)24日(金)	・保育参観 17日(金)24日(金)	・振興会総会 18日(土)
	◎はじめましての会 18日(土)	・振興会総会 18日(土)	
	●野菜苗さつまいもの苗植え ・振興会総会(18日)		
6月	・愛園作業 1日(土)	・愛園作業(きりんG) 1日(土)	・愛園作業(たんぼぼ) 1日(土)
	●4歳児懇談会 1日(土)	・4歳児懇談会 1日(土)	} 6月～8月の間で ご都合の良い日
	●カレーパーティー	・個別懇談会 6月～7月の間で ご都合の良い日	
	・歯科検診・歯磨き指導・検尿 ・園児健康診断 12日(水)		
・プール開き ◎保育参加 } 6月～8月の間で ●◎個別懇談会 } ご都合の良い日			
7月	・ふれあいまつり 13日(土)	・ふれあいまつり 13日(土)	・ふれあいまつり 13日(土)
	・七夕のつどい(ハッピーさん) ●個別懇談会(7～8月) ●夕涼み会(らいおんG)	・個別懇談会	
8月			
9月	●和太鼓お披露目会(らいおんG)	・和太鼓お披露目会(らいおんG)	
	●ハッピーさんとの交流(2ホーム)		
10月	●わくわくカーニバル	・わくわくカーニバル	
	●バス遠足 ◎ハッピーさんとの交流(2歳児)		
11月	・園内造形展	・園内造形展	・園内造形展
	・園児健康診断	・愛園作業(らいおんG) 2日(土)	・個別懇談会 ご都合の良い日
	◎個別懇談会 ・愛園作業 2日(土)		・愛園作業(もも) 2日(土)
	●ハッピーさんとの交流(2ホーム)		
12月	●わくわくコンサート 14日(土)	・わくわくコンサート 14日(土)	
	・おたのしみ会 ・もちつき会		
1月	●伝承遊び(ハッピーさん)		
2月	・節分のつどい	・わくわく劇場 15日(土)	・振興会総会 15日(土)
	●わくわく劇場 15日(土) ●園内版画展 ・振興会総会15日(土)	・園内版画展 ・振興会総会 15日(土)	
3月	・愛園作業 1日(土)	・愛園作業(うさぎG) 1日(土)	・愛園作業(ちゅうりっぷ) 1日(土)
	◎2歳児懇談会 1日(土)	・卒園式	・2歳児懇談会 1日(土)
	●お別れのつどい ●卒園式		
毎月の行事	・誕生会 一人一人の誕生日当日に各クラスでお祝いをし、 幼児クラスは月末に誕生会も行います。 ひとつ年齢を重ねていく喜びを大切にしています。	随時の行事	・校区就学前交流 ・クッキング ・地域活動事業 子育て教室(さくらんぼ教室) ・ホームでのハッピーさんとの交流 ・山田さんのおはなし会

#### 4 日課表

##### 【乳児：0,1,2歳児】

時間	主な活動(0歳児)	主な活動(1,2歳児)
7:00	早朝保育・健康観察・検温	早朝保育
7:30	保育室へ移動	保育室へ移動健康観察・検温
8:00	自由遊び	自由遊び
8:30	おむつ交換	おむつ交換・排泄
9:00	遊び	牛乳 遊び
9:40	散歩・戸外遊び 室内遊びなど 片付け・おむつ交換・着替え	散歩・戸外遊び 室内遊びなど
10:15	午前睡	片付け・おむつ交換
10:30	昼食	排泄・着替え
11:00		昼食
11:30	午睡	
11:45		おむつ交換・排泄・午睡
14:30	目覚め	目覚め
15:00	おむつ交換・着替え おやつ 遊び 室内遊びなど	おむつ交換・排泄 おやつ 遊び 室内遊びなど
16:00	健康観察	健康観察
16:30	随時降園 長時間保育	随時降園 長時間保育
18:00	延長保育	延長保育
19:00		

##### 【幼児：3,4,5歳児】

時間	主な活動(3歳以上児)		時間	主な活動(3歳以上児)	
7:00	早朝保育・検温	早朝保育	15:00	降園準備	
7:30	保育室へ移動 室内遊び 保育室へ移動 朝の準備	園庭へ移動 戸外遊び		健康観察	
8:30	持ち物の始末		15:30	帰りの会	
			15:45	随時降園	
			16:00	長時間保育	
				室内遊び	戸外遊び

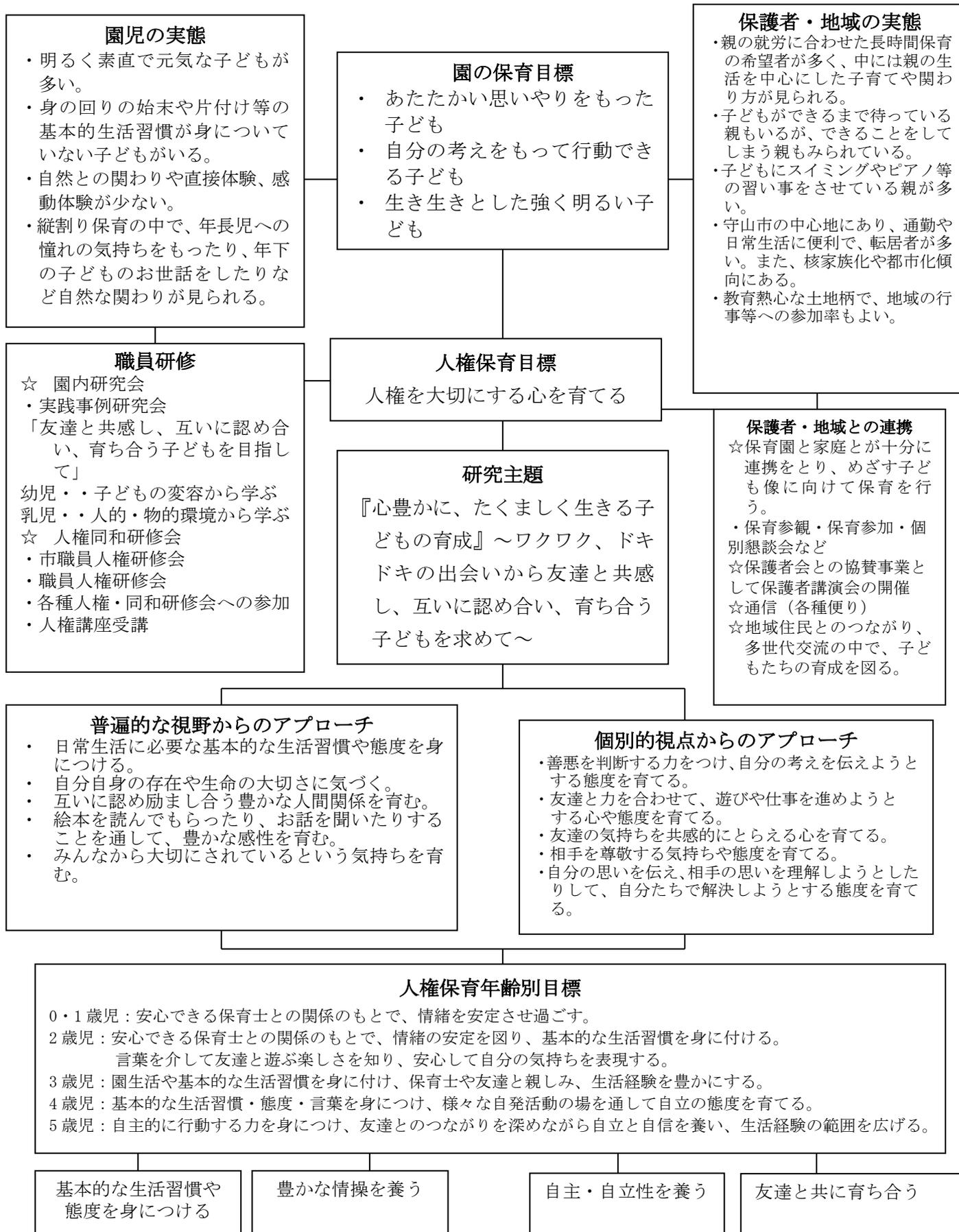
	室内遊び 片付け・排泄	片付け	17:50		室内へ移動
9:30	朝の会	室内へ移動	18:00	延長保育	
10:00	主題活動及び →		19:00		
10:15	自主選択活動 →	ホームまたは グループ			
	片付け・昼食準備				
11:20	順次昼食				
11:50	順次片付け・排泄				
12:30	※③④午睡				
13:00		⑤グループ活動			
	③④目覚め				
14:20	排泄・着替え 順次おやつ	片付け			
14:45					

※午睡の時期 3歳児(一年間) 4歳児(4月～10月) 5歳児(6月末～8月末)

\*上記の日課は、月曜日から金曜日のものです。

\*土曜日は、7:00～17:00までの保育です。

## 5 人権・保育推進計画一覧表



## 6 園内研究会

### (1) 本年度主題

#### 『心豊かに、たくましく生きる子どもの育成』

一『ワクワク ドキドキ』の出会いから友達と共感し、互いに認め合い、  
育ち合う子どもを求めて一

本園の子どもたちは明るく素直な子どもが多い。しかし、近年子どもの生活環境が大きく変容し、少子化や核家族化が進み、家族や地域の中で年齢の違う子どもたちが、切磋琢磨しながら育ち合う場が少なくなっている。このような中で子どもたちの育ちは、人と人との関係の希薄さから、自分の思いを言葉や表情で表現することができにくく、安定した生活が送れないのではないかと考えられる。

そこで本園の“縦割り保育”(37年目を迎える)の特性をいかした取り組みの中で、一人一人の子どもたちの思いを見逃さず受け入れることで、子どもたちが居場所を見つけ安定した生活を送ることができる。3. 4. 5歳児の異年齢の子どもたちが、生活や遊びを共にすることで互いの存在に気づき刺激し合い、自分の思いを表現でき、自らの育ちの中で豊かな人間関係の基礎を培うものと考えた。

また、乳児においても保育形態を工夫し、一人一人にじっくり関わることをねらいとした育児担当保育を取り入れている。そのことにより、見えてくる一人一人の発達を知ると共に、子どもに合った保育の手だてや環境の工夫をしながら発達をより確かなものにしていきたいと思った。

子ども一人一人の心が揺さぶられ、満たされることによって心豊かにたくましく生きる子どもの育成につながっていくのではないかと考え、この研究主題を設定した。

### (2) 具体的な取り組み

身近な環境との出会い触れ合いを基盤にした関わりの中で、子どもが主体的に取り組む姿やつぶやきを追い、保育者は、どのような思いで関わってきたのか。またどのような環境や援助をすることで、保育者の願いが達成できるのかなど、保育者の支援や手だての方法を学びあえるように研究し、子どもの育ちがより確かなものになることをめざす。

【幼児部会】テーマ『たてわり保育での仲間のつながり～受け継がれていく子どもの心～』

【特別支援部会】テーマ『一人一人の子どもの課題や発達に合わせた支援のありかたを考える』

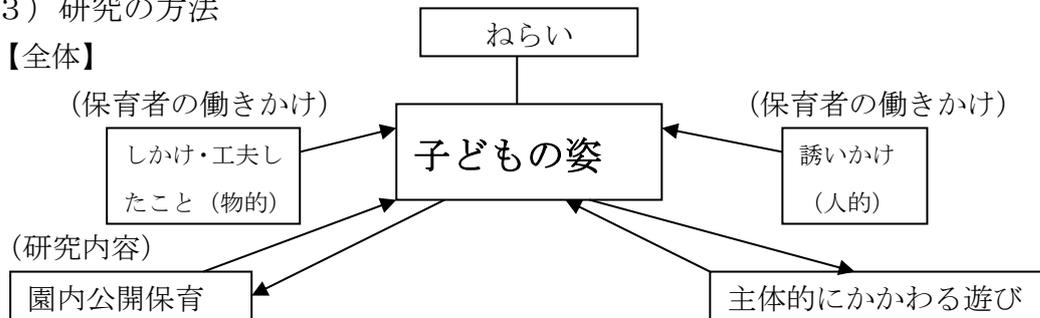
【乳児部会】テーマ『育児担当保育を基に、一人一人に寄り添った保育をめざして』

(保育内容検討会の内容)

- ・気にかけている子どもへの手だて
- ・主体的に関わる子どもの姿から
- ・手作り玩具を通して室内環境を考える

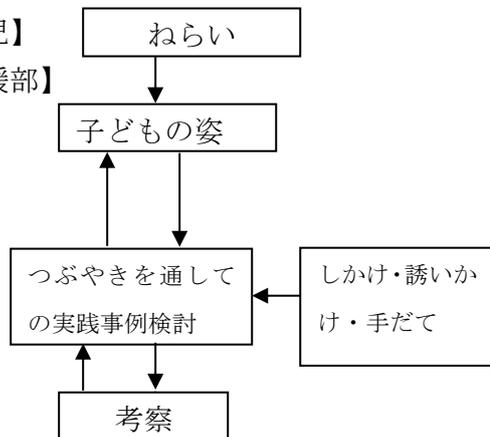
(3) 研究の方法

【全体】

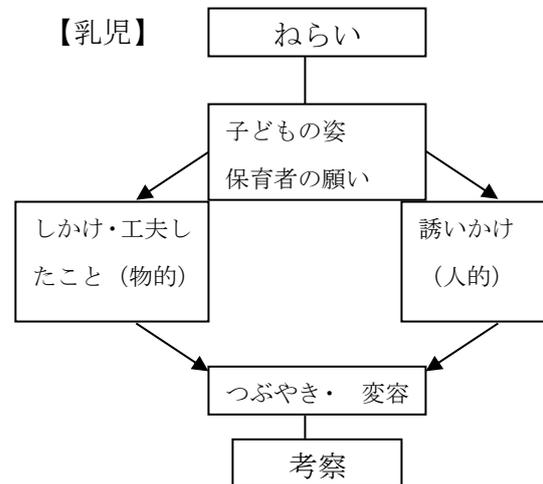


【幼児】

【支援部】

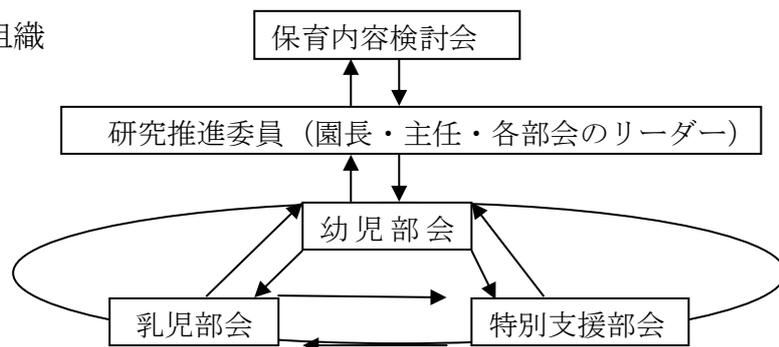


【乳児】



※子どもの思いや育ちを保護者に伝え、子どもの心の育ちを確かめ合う。

(4) 研究組織



## 7 その他 施設等の維持管理について

管理項目	管理内容
エレベーターの保守点検	細密点検 年1回実施（機器等の細密点検） 定期点検 3箇月に1回実施 遠隔点検 月1回実施
自家用電気工作物保守管理	適正な維持管理を行えるよう、定期的に電気工作物の点検、測定、試験を行う。
空調機器保守点検	施設の快適な環境を確保するため、冷暖房の切り替え作業および機器の点検を行う。
保安警備の委託	施設に保安警備システムを設置し、閉園時の不審者侵入等の防止を図る。
緊急通報装置保守点検	機械点検 月1回実施 巡回保守 年4回実施
消防設備の保守点検	総合点検 年1回実施 機器点検 年1回実施
遊具の点検	園庭遊具 専門業者により年1回実施、職員により日常点検 室内外の安全点検 職員により毎月2回実施(第2・第4月曜日) ※乳児組は職員により玩具室内の清掃消毒 砂場の掘り起こしおよび消毒
プールの管理	使用前には残留塩素濃度を確認し、使用後は毎日清掃を実施 年間を通じ常時満水にし、プールの萎縮を抑制する。
立木の剪定	専門業者により年1回実施 職員により適宜剪定を実施
立木の害虫駆除	専門業者により年1回実施 ※年2回の駆除に関わらず大量発生した場合は職員が行う。
ゴキブリ・ねずみの駆除	専門業者により年2回実施
ピアノの調律	専門業者により年1回実施
体重計の調整	滋賀県計量協会により2年に1回実施
施設の清掃	各保育室、廊下、トイレ等・・・職員により毎日実施 園内外(高窓、除草、整地等)・・・保護者による愛園作業時 (年3回実施、各家庭1回参加協力)
すこやか通りの植樹帯の管理	吉身保育園に面している区間についての美化活動 (鉢植え、プランターの設置、除草等)

※ここで列挙した項目は、保育園の維持管理における主たるものである。